

リリースノート - Ki Pro Ultra Plus v4.0

Firmware update for Ki Pro Ultra Plus v4.0

全般

今回のファームウェア更新では、Ki Pro Ultra Plus に重要な新機能が追加されています。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com のサポートページでご確認いただけます。

新機能

v4.0 ファームウェアでは、以下の機能が追加もしくは修正されました：

・強制ロールオーバー機能

ロールオーバーモードが有効になっている場合、“SLOT” ボタンを押すとどの時点でもロールオーバーを開始することが可能になりました。このことにより、2番目のスロット (Pak Media) に続けて収録できかつ引き続きロールオーバーモードは継続されます。

・アナログ/AES オーディオマッピング機能

マルチモードの場合、これまでの選択肢であった SDI、AES もしくは アナログに加えて、必要に応じてアナログおよび AES オーディオのチャンネルペアを選択し、入力上からマッピングすることが可能になりました。

・タイムコード (TC) バーンイン位置の選択

タイムコード (TC) バーンイン機能では、6つのポジションから 1箇所を選択できるようになりました。

・マルチチャンネル収録時の個別ファイルネーミング

これまでのファイルネーミング時のオプションに加えて、それぞれのクリップでチャンネル識別のためにファイル名を変更できるようになりました。

・RS-422 ID 選択機能

Ki Pro Ultra Plus では、Ki Pro Ultra、Ki Pro Rack および Sony SRW-5500 の 3 つの選択肢から RS-422 ID を選択することが可能になりました。

改善点

以下のバグ修正および機能改善が追加されています：

- ・ マルチチャンネルモード：ファイル書き込みの信頼性を向上
- ・ マルチチャンネルモード：オーディオチャンネルがホッピングしてしまうエラーを修正
- ・ v3.0 で確認された HDR プレイバック機能の問題を修正
- ・ オーディオシグナルジェネレーターの機能を改善
- ・ マルチチャンネルモード：クリップのナンバリングが間違った増え方をしていた問題を修正
- ・ RS-422 対応を改善：キューアップ時の動作が操作通りにはならない問題を修正
- ・ 長時間収録時のパフォーマンスがより安定するよう改善

ファームウェア更新時の注意点

- ・ ファームウェアのアップデートを行う前に、"CONFIG" メニューから "Factory Reset" で工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、Web ブラウザ (Safari、Firefox など) と Ki Pro Ultra Plus との接続が解除される場合があります。Web ブラウザをリロードすることで、Web ユーザーインターフェイスに再接続できるようになります。
- ・ Ki Pro Ultra Plus で収録中に、ファームウェアのアップデートを行わないでください。ファームウェアのアップデートを実行する前には、Ki Pro Ultra Plus が停止状態にあることを確認してください。